

エコアクション21

人、暮らし、エネルギー。

白鷺電気工業株式会社

対象期間：2012.7～2013.6

環境活動レポート



白鷺電気工業株式会社

平成26年4月1日発行

目 次

I 会社概要	1
II 企業使命感・存続6ヶ条	2
III 環境方針	3
IV 実施体制	4
V 環境負荷実績と環境目標	5
VI 環境活動取組結果の評価	6~7
VII 環境活動計画	8
VIII 環境活動履歴	9~12
IX 各部と八代支社の取組み	13~17
X 環境関連法規への違反・訴訟	18
XI 代表者による全体評価と見直しの結果	19



I 会社概要

1. 企業名 白鷺電気工業株式会社

2. 代表者名 代表取締役 沼田 吉輝

3. 所在地

- 本 社 熊本県熊本市東区石原1丁目11-29
- 八代支社 熊本県八代市宮地町1680
- 福岡支社 福岡県福岡市中央区渡辺通り2丁目4-20パール福岡507
- 京都支社 京都市右京区山ノ内苗町29-2グローアップ京都201
- 人吉営業所 熊本県人吉市願成寺町1343-1
- 鹿児島営業所 鹿児島市高麗町18-15丸善高麗ハイツ604
- しらさぎエナジー株式会社 熊本県上益城郡益城町小谷2224-8

注記: ○印登録範囲 京都支社は4年を目途にして登録します。

4. 事業規模

(1)資本金 1億円

(2)事業内容 電気工事業(電力プラント・情報通信設備サービス・新電気エネルギー・
快適電化サポート・省エネルギー省コスト・でんでんメンテサービスの各事業)

(3)従業員数 110名

本社:62名 八代支社:40名 京都支社:6名 福岡支社:1名
人吉営業所:1名 鹿児島営業所:1名(八代支社長兼務)
しらさぎエナジー:3名(白鷺電気社員兼務)

5. 環境管理責任者名および連絡先

(1)氏名 環境管理責任者 上席執行役員 安全品質環境推進室長 服部 武志
EA21推進担当者 安全品質環境推進室 副長 沼田 起明
EA21推進担当者 安全品質環境推進室 担当 原之園 淳子

(2)連絡先 本社 電話:096-380-7171 FAX:096-380-7140

URL <http://www.shirasagidenki.co.jp>

企業使命感

くらしと産業の礎をひらく
パートナーシステムの白鷺電気工業

存続6ヶ条

- 1 <安全> 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくれます。
- 2 <協調> 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
- 3 <技術> 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
- 4 <啓発> 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日 今日よりも明日と自分をみがきます。
- 5 <システム> 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行ないます。
- 6 <業績> 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げることにより信用・業績を高めます。

Ⅲ 環境方針

E A 2 1 環境方針

我社は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」を使命とし、事業活動において生じる環境への影響を最小限に抑えるために、以下の方針を基に環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。

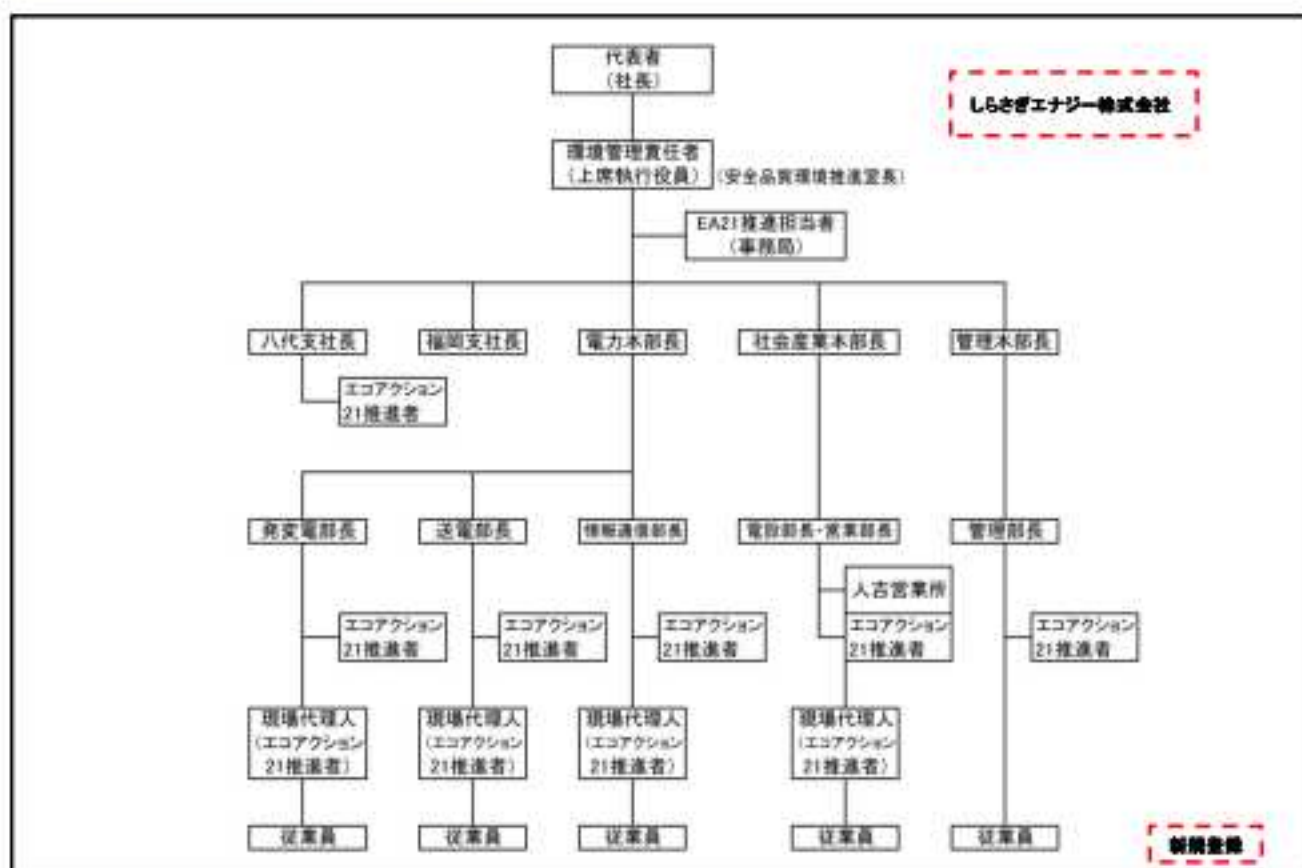
1. 日常の業務において環境へ与える影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で次の各項目を環境管理の重点課題として取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
 - a. 建設機械及び車両の環境影響の低減
 - b. 事業廃棄物の発生抑制、再利用及びリサイクルの推進
 - c. 省資源・省エネルギーの推進
 - d. 水使用量の削減
 - e. グリーン購入の推進
 - f. 製品・サービスに関する環境配慮
 - g. 化学物質の適正な管理
2. 我社の事業活動に関わる環境関連の法規制及び、受入れを決めたその他の要求事項を遵守して、継続的に取り組みます。
3. この環境方針を全社員に周知し、これを理解し実践できるよう教育活動を推進すると共に、我社の環境保全活動について、ご理解ご支援を頂くために一般の方々にもこの環境方針を含め環境活動レポートを公開します。

制定：2011年12月1日

改訂：2012年5月12日

白鷺電気工業株式会社
代表取締役 沼田吉輝

Ⅳ 実施体制



職位	主な責任と権限
代表者	環境方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境への取組を適切に実行するための資源(人・もの・金)の準備
環境管理責任者	代表者より委任をうけ環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境活動計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境活動レポートの確認と公表
EA21推進担当者 (事務局)	環境活動における事務局としての環境管理責任者の補佐 活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録のとりまとめ 外部コミュニケーション窓口(苦情受付) 環境関連法規のとりまとめ及び環境活動レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境活動の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者	環境活動の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
全社員	環境方針、環境目標に沿った活動の展開 環境活動における改善点の提言

V 環境負荷実績と環境目標

IV-1 環境負荷実績

項目		22年度	24年度	備考
二酸化炭素 排出量	総排出量	320,916kg-CO2	346,240kg-CO2	
	電力	128,464kwh	92,517kwh	
	ガソリン	90,727L	95,159L	
	軽油	20,661L	30,890L	
	灯油	4,206L	4,529L	
一般廃棄物排出量		7,775kg	4,905kg	
産業廃棄物排出量		18,444kg	25,430kg	
水使用量		29m ³	17m ³	
化学物質購入量		1,062L	704L	
グリーン購入		2件	4件	

IV-2 環境目標

* 基準年22年度を1年間実績とし、目標の中期計画を立てた。

区分	項目	基準年	目標		
		22年度	23年度	24年度	25年度
二酸化炭素 排出量	総排出量の削減	320,916kg-CO2	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			317,707kg-CO2	314,498kg-CO2	311,289kg-CO2
	電力の削減	128,464kwh	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			127,179kwh	125,895kwh	124,610 kwh
	ガソリンの削減	90,727L	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
89,819L			88,912 L	88,005 L	
軽油の削減	20,661L	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%	
		20,454L	20,247 L	20,041 L	
灯油の削減	4,206L	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%	
		4,163L	4,121 L	4,079 L	
一般廃棄物 排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上)	7,775kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			7,697kg	7,619kg	7,541kg
産業廃棄物 排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上)	18,444kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			18,260kg	18,075kg	17,890kg
水使用量	水使用量の削減	29m ³	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			29m ³	28m ³	28m ³
グリーン購入	グリーン購入 の推進	2件	基準年度 1種類増加	基準年度 2種類増加	基準年度 3種類増加
環境に配慮した 事業活動	社会への啓発 活動の推進	販売・イベント 参加: 4件/年	販売・イベント 参加: 4件/年	販売・イベント 参加: 5件/年	販売・イベント 参加: 6件/年
化学物質の管理	化学物質削減 適切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
		1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期

(注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は22年度九州電力の実排出係数0.369を使用する。

2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びMSDSに沿っての適切な取り扱いと管理の実施を行う。

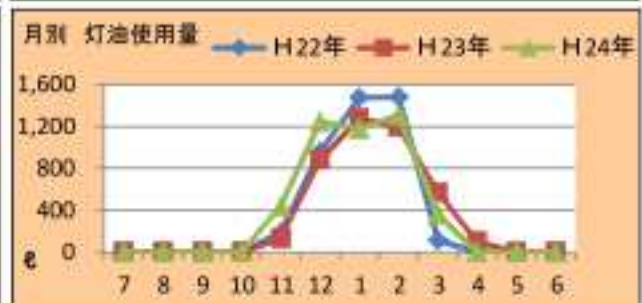
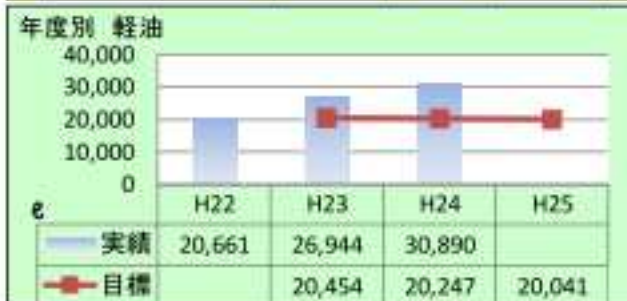
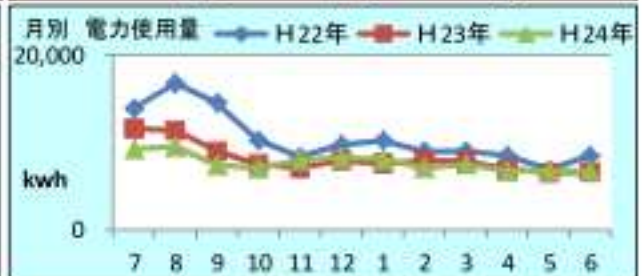
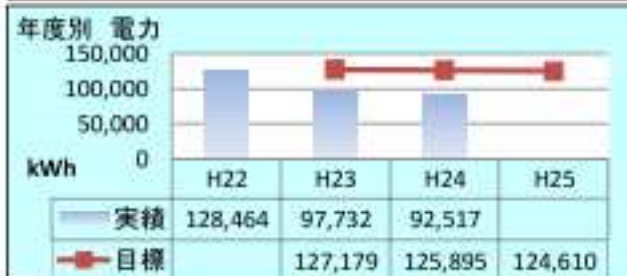
Ⅵ 環境活動取組結果の評価

環境目標と取組実績（運用期間：平成24年7月～25年6月）

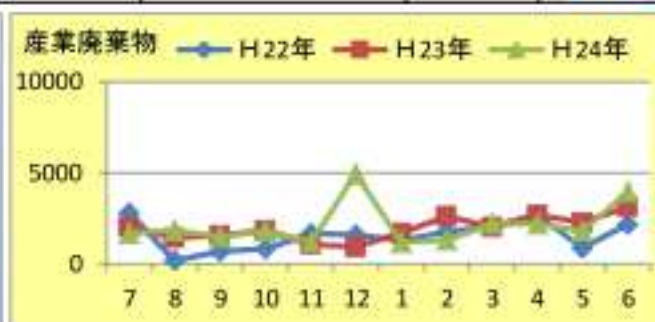
Ⅵ-1 環境負荷実績

* 数値目標は平成22年度基準の同月比で3%削減を環境目標とした。

項目	22年度	目標値	24年度	達成度	
	基準年実績		実績		
1. CO2排出量	320,916kg-CO2	314,498kg-CO2	346,240kg-CO2	91%	😊
電気使用量	125,648kwh	123,135kwh	92,517kwh	133%	😞
ガソリン使用量	90,727L	88,912L	95,159L	93%	😞
軽油使用量	20,661L	20,247L	30,890L	66%	😞
灯油使用量	4,206L	4,121L	4,529L	91%	😞



項目	22年度	目標値	24年度	達成度	
	基準年実績		実績		
2. 一般廃棄物の削減	7,775kg	7,619kg	4,905kg	155%	👑
3. 産業廃棄物の削減	18,444kg	18,075kg	25,430kg	71%	😞
4. 水使用量	29m ³	28m ³	17m ³	167%	👑
5. グリーン購入	2種類/年	4種類/年	4種類/年	100%	👑
6. 環境活動に配慮した事業活動	販売・イベント参加:4件/年	販売・イベント参加:5件/年	販売・イベント参加:5件/年	100%	👑
7. 化学物質購入量	1,062L	1,041L	704L	148%	👑



- 環境目標と取組実績において、削減目標に対し大幅に実績が増加しているが、これは年度末の作業量が増え現場への往復でガソリン、軽油が増加した。また残業や休日出勤などにより灯油の使用量が増加したためと考えられる。
- 産業廃棄物は、12月に本社、八代支社倉庫整理の廃プラスチックが大量に出たため、目標に対し達成できなかった。
- 電気は、初年度にLEDやデマンド、昼休みの消灯の徹底により夏場のエアコン使用時も削減することができた。
- 一般廃棄物は、できる限り分別しリサイクルしているため、減少した。

VII-2 環境目標と取組実績（燃費向上への取組）



燃費管理表の提出率は、H23年は88%、H24年は56%と低下しているため正確なデータ管理ができていません。来年は、各部に呼びかけ正確なデータ収集を目標とします。

白鷺燃費No.1グランプリ

- 👑 61号車 16.1km/ℓ(情報通信部 大柿さん)
- 👑 27号車 15.7km/ℓ(日田電力副本部長)
- 👑 72号車 15.0km/ℓ(送電部 中村さん)



Ⅶ 環境活動計画

+ 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目	活動の具体的内容	活動場所	担当部門	スケジュール												
					7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	車両管理表への記入徹底を呼びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門	[全月実施]											
2	環境配慮	再生可能エネルギーへの取組	太陽光発電の営業拡大	市場	営業部	[全月実施]											
3			太陽光発電所の設備の設計、検査、検定を積極的に行う		電設部	[全月実施]											
4		環境ボランティア活動の拡大	地域に役立つ社会貢献として熊本城と八代城の清掃活動	熊本市・八代市	NPQ法人 しらさぎ	[7月実施]											
5			2014くまもと環境フェアへの参加	熊本市		[4月実施]											
6			ロードクリーンボランティアへの参加	熊本県	営業	[4月実施]											
6		電気事業会社しらさぎエナジー設立準備	太陽光発電所建設の準備	益城町	社長室	[全月実施]											
7	産業廃棄物	取扱部門排出量実態把握	マニフェストの管理と分別収集の徹底	本社・八代支社・各建設現場	現場部門 関係部門	[全月実施]											
8	水使用量	地下水使用管理	地下水使用量計量器取付検討	本社・八代支社	管理本部	[5月実施]											
9	七字教育	M50Sに基づく適正管理	内容の周知、適正取扱いと管理(M50Sシート提示等)	本社・八代支社・各建設現場	安全管理課 課長部門	[7月実施] [12月実施] [3月実施] [5月実施]											
10	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と発表に参加し環境教育を実施する	本社・八代支社・各建設現場	安全管理課	[全月実施]											
11			各事業所単位の環境活動の支援	毎月のデータ管理からムダを洗い出す	本社・八代支社・人吉事業所	安全管理課	[全月実施]										
11		社内事務のL&D(L)及び廃棄削減による環境への配慮 節電・CO2削減・申請書等の電子化への取組 知識を活かした事業所内電気料金の削減		本社・八代支社・人吉事業所	電気課 管理本部 営業部	[全月実施]											
12	各工事件名単位の環境活動支援	作業所における環境コミュニケーションの実施	各建設現場	安全管理課 課長部門	[全月実施]												

平成25年度環境活動計画(次年度分)

No.	項目	活動の具体的内容	活動場所	担当部門	スケジュール												
					7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等燃料使用状況の精度向上	車両管理表への記入徹底を呼びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門	[全月実施]											
2	環境配慮	再生可能エネルギーへの取組	小水力への営業展開	市場	営業部	[全月実施]											
3			太陽光発電の営業拡大		電設部	[全月実施]											
4		環境ボランティア活動の拡大	EV・PHVの充電インフラ整備への提案営業	熊本市・八代市	NPQ法人 しらさぎ	[7月実施]											
5			地域に役立つ社会貢献として熊本城と八代城の清掃活動	熊本市		[7月実施]											
6			熊本市・八代市 しらさぎエナジー	安全管理課	[7月実施]												
6		電気事業会社しらさぎエナジー株式会社	太陽光発電所建設と発電事業	益城町	しらさぎ エナジー	[全月実施]											
7	産業廃棄物	取扱部門排出量実態把握	マニフェストの管理と分別収集の徹底	本社・八代支社 各建設現場	現場部門 関係部門	[全月実施]											
8	水使用量	地下水使用管理	地下水使用量計量器取付計画	本社・八代支社	管理本部	[全月実施]											
9	七字教育	M50Sに基づく適正管理	内容の周知、適正取扱いと管理(M50Sシート提示等)	本社・八代支社 各建設現場	安全管理課 課長部門	[7月実施] [12月実施] [3月実施] [5月実施]											
10	環境全般	環境教育の充実	教育資料の作成と発表に参加し環境教育を実施する	本社・八代支社 各建設現場	安全管理課	[全月実施]											
11			各事業所単位の環境活動の支援	環境に配慮した知識を習得するため勉強会を都内で開催	本社・八代支社 人吉事業所	安全管理課	[全月実施]										
11		毎月のデータ管理からムダを洗い出す 倉庫内の整理・整頓 工事現場における地域環境への配慮による苦情の未然防止 ノーマイカーデーによるCO2削減		本社・八代支社 人吉事業所	安全管理課 情報通信部 管理本部	[全月実施]											
12	各工事件名単位の環境活動支援	作業所における環境コミュニケーションの実施	各建設現場	安全管理課 課長部門	[全月実施]												

Ⅳ 環境活動履歴

2012.7～2013.6



クールビズ、ポロシャツ着用	2012.07	全社	中期経営計画ロゴ入りポロシャツ作成し着用
八代城址・水島清掃ボランティア	2012.08	八代市	八代城石垣と水島の清掃 参加者:120名
熊本城清掃ボランティア	2012.08	熊本市	熊本城石垣の清掃 参加者:136名
植林事業「ふれあいの森白鷺」	2012.08	西原村山林	熊本県森林吸収量認定 熊本県庁

**SUPER
COOLBIZ**

中期経営計画ロゴ入り
ポロシャツ作成しました！

2012 夏



『チャレンジ25』チャレンジャーに登録しました。



8月4日八代城址・水島清掃ボランティア



水島



八代市役所のお姉さんと八代城の勉強



8月17日熊本城清掃ボランティア



熊本城



八代城址

お兄ちゃん、あのね
スパイダーマンが
たくさんいたよ！



熊本城おもてなし隊、加藤清正公もご出陣



子どもたちも清掃ボランティアに参加しました。



8月29日 熊本県より
「熊本県森林吸収量認定書」授与
されました。
「ふれあいの森白鷺」の植林活動
二酸化炭素吸収量10.72t-CO₂/年
が認定されました。

2012 秋

熊本県「くまもと環境賞 奨励賞」受賞	2012.10	熊本市	熊本城・八代城址・水島清掃、西原村育樹下草刈りなどのボランティア活動に対して受賞
イチゴの苗植付け	2012.10	本社	本社屋上緑化花壇
くまもと農業フェア＆海づくりフェスタ	2012.10	合志市	太陽光発電と小水力発電の仕組みを紹介



10月5日 熊本県より「くまもと環境賞 奨励賞」受賞



来年の春が
楽しみ！



毎年恒例の
熊本城の除草清掃
八代城址と水島の除草清掃
老健介護施設の清掃
西原村育樹下草刈りなど
ボランティア活動が、熊本県より
環境にやさしい取り組みであるとして、
『くまもと環境賞』を受賞しました。

10月6日 屋上緑化花壇にイチゴの苗植付けました。

第33回全国豊かな海づくり大会～くまもと～
1年前イベント
小水力発電と太陽光パネルの展示をしました。
熊本県農業公園(カントリーパーク)はバラが
見ごろでした。



10月27・28日 2012くまもと農業フェア＆海づくりフェスタ



2013 春

くまもとらしいエコライフ 家庭の省エネコンテスト	2013.02	熊本県	参加者(3名)全員入賞 (くまもとらしいエコライフ賞・実績比較賞・5行詩感想賞)
しらさぎエネルギー株式会社設立	2013.03	益城町	メガソーラー発電事業参入
植林事業「ふれあいの森白鷺」	2013.03	西原村山林	1.8ha 下草払い 参加者: 74名
イチゴ大豊作	2013.04	本社	本社屋上緑化花壇

くまもとらしいエコライフ

家庭の省エネコンテスト



家族ができるだけ
一緒に部屋で
過ごしました。

2月20日 熊本県主催
「くまもとらしいエコライフ 家庭の省エネコンテスト」で
参加者全員入賞しました。
実施期間:平成24年11月1日～平成25年1月31日(3ヶ月)
参加組数:10社より各1チーム3家庭(計30家庭)



実績比較賞 最優秀賞 松岡 洋さん
昨年度の同時期・期間の電気使用量と
比べて、最も削減率が高かった家庭を表彰

電気代
安い方が良いでしょう
節電で
妻がニヤけりゃ
地球も笑う



くまもとらしいエコライフ賞
優秀賞 岩崎 守美さん
電化製品の説明書に改めて目を通し、
家にある機器を可能な限り節電モードに
設定しました。

5行詩感想賞 優秀賞 沖本 明快さん
今後もエコライフ生活に取り組んで参ります！



山で食べる
豚汁は、
最高！！



平成25年3月益城町小谷において
「しらさぎエネルギー株式会社」を設立いたしました。
メガソーラー発電事業の熊本県における地場企業
の参入は7件目、全体では28件目になります。



3月9日 阿蘇西原村「ふれあいの森 白鷺」下草刈り

昨年秋から二度も雨に遭い順延していました。
営林署OBで環境セラピストの安楽 行雄氏による
環境講話「森林の働き」の知識を蓄えて作業開始。

屋上緑化のイチゴは、今年も大豊作！！

2013 初夏

山都町菅迫棚田農作業	2013.05	山都町	苗床づくり 参加者:20名
メガソーラー発電事業に係る協定締結	2013.05	熊本県	益城町・熊本県・しらすぎエネルギー株式会社
くまもと環境フェア参加	2013.05	熊本市	太陽光発電と小水力発電の仕組みを紹介
山都町菅迫棚田農作業	2013.06	山都町	田植え 参加者:17名

山都町菅迫地区棚田農作業
棚田で稲作りに挑戦します。



5月6日 苗床づくり



6月16日 田植え



5月18～19日 くまもと環境フェア2013
2回目の参加です。



5月17日 益城町・熊本県・しらすぎエネルギー様の三者
による益城町におけるメガソーラー発電事業に係る
協定締結式が行われました。

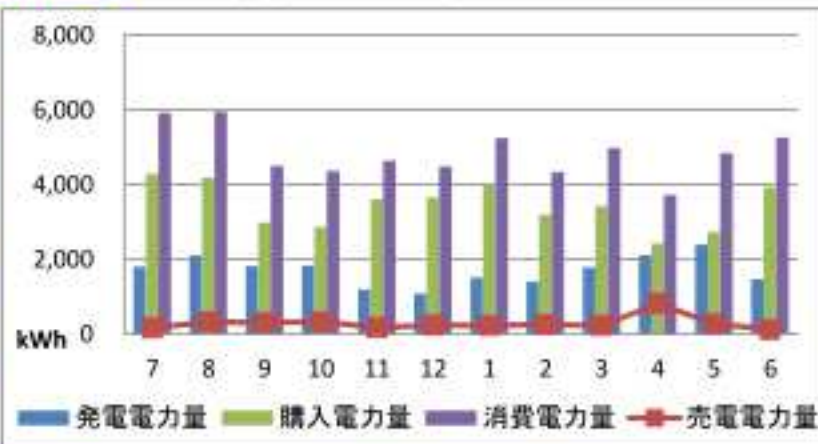


屋上太陽光発電(16kW)

たくさん子どもたちが、小水力発電や風力発電を
見学してくれました。



本社屋上 10kW



本社10kW、倉庫6kW、合計16kWの
太陽光発電を設置しています。
電気料金の計算は、1年間の実績最
大需要電力により基本料金が設定さ
れ、季節による電力料金の違い、燃
料費調整額や省エネ賦課金などがあ
り年間を通し同じ条件で比較するこ
とは容易ではありません。

この一年間では2月に最大需要電力
が36kW→32kWになり基本料金が
5,040円(1,260円/kW)下がりました。
これは太陽光発電、デマンドモニターと
社員の節電意識が定着してきたから
だと思います。

もしも太陽光発電がなかったら料金
と実際の電気料金の差額を試算
すると¥298,459増、これに売電金額
¥82,584を加え年間¥381,043の削減に
なりました。



倉庫屋根 6kW



Ⅹ 各部の取組み

達成度評価

A: 90%～100%

B: 80%～90%

C: 60%～80%

D: 60%未満

発電部



EA21運用における環境配慮への取組み計画

1.省エネルギー・省資源の削減による環境配慮

現場事務所の電気使用量の節約によるCO2削減を図る

①現場事務所にて、照明等の消費電力を削減する

②工事車両の融通による削減等を行ないCO2削減を図る

B

2.現場環境配慮

①工事着手前に近隣民家への挨拶廻りを行ない、苦情防止対策を実施

②絶縁油流出による環境汚染防止の為、防油堤・吸着マットの設備を実施

EA21運用における業務改善への取組み計画

1.社内業務のムダ・ムラ・ムリの削減及び残業削減による環境への配慮

2.技術継承を含めた個々の技能・技術のレベルアップを図る

B

Action

地域ボランティアによる環境配慮

変電所周辺のゴミ拾いを実施し、環境と地域貢献に努める。

送電部



EA21運用における環境配慮への取組み計画

現場環境負荷の低減

①地域住民との対応協力、新たな工事現場等では地域の方々とのコミュニケーションを図り工事の円滑な遂行を図る

②化学物質の管理、ガソリン・軽油等の保管数量を定期的を確認する

A

EA21運用における業務改善への取組み計画

業務の効率化

①ビデオによる検証

現場作業状況をビデオ撮影し、ムダ、ムラの確認を行ない改善していく

②ベンチマーキングの取組み

JV工事や他社応援で感じた、他社の長所を紹介しスキルアップを図る

C

Action

環境に関連した知識を習得するために勉強会を開催し、法規制に基づく関係機関への届出等の提出に不備がないようにする。

倉庫内の整理、整頓を実施、パトロールにてチェックする。



倉庫内を整理整頓し、保管状況・保有量等について定期的を確認しています。

情報通信部



Action

EA21運用における環境配慮への取組み計画

工事現場における地域環境への配慮 工事現場で発生した地域環境における小さな苦情を拾い上げ集約を行い検証し、現場環境配慮への指導内容を特定する。(苦情発生メモの作成)	D
---	---

EA21運用における業務改善への取組み計画

直営班稼働効率向上による業務改善 直営班の稼働効率を向上させ、限界利益の追求・外注費の削減・早期育成を含めた観点により2週間工程の計画を遂行する。	A
--	---

工事場所における地域環境への配慮による苦情の未然防止を図る。
工事前に工事に関連する敷地了解を頂き、記録に残し苦情の発生防止する。

電設部



Action

EA21運用における環境配慮への取組み計画

1.自然エネルギー事業の推進 ①太陽光発電設備の設計、積算、提案を積極的に行い受注に繋げる ②積算資料作成(パネル・架台・工数他単価票の作成) ③小水力発電設備は官公庁の「農村モデル事業」等の提案申込を継続して行う ④当社独自の小水力発電システムを提案する	B
--	---

2.作業所における清掃活動 清掃活動を計画し地区自治会にも連絡協議を含めて実施する	
--	--

EA21運用における環境配慮への取組み計画

廃棄物の抑制及びリサイクルの推進 産廃物の目標を設定して現場単位で実績を取り目標達成に取り組む	B
--	---

自然エネルギー事業の推進
太陽光発電他自然エネルギー事業(急速充電器含む)の設計・積算・提案を積極的に行い受注に繋げる。



『北新田地区湛水防除事業第5工事』現場の地元北新田西北小川地区の方々と一緒に用水路の清掃作業を行ないました。

営業部



EA21運用における環境配慮への取組み計画	
再生可能エネルギーへの取組み ①小水力への営業展開 メーカー関連企業と連携を密にし行動範囲を広げる ②太陽光発電の営業拡大、メガソーラー工事受注への参入 ③デマンド営業の強化 導入事例を精査し説明資料の見直しを行ない営業展開を図る	B
EA21運用における業務改善への取組み計画	
省資源・省エネルギーの推進 ①営業の知識を活かした事務所内電気料金の削減 ②費用対効果の試算	D

Action

- 再生可能エネルギーへの取組み
1. 小水力への営業展開
 2. 太陽光発電の営業拡大
 3. EV・PHVの充電インフラ整備への提案営業
 4. 節電、省エネ活動への提案営業

管理本部



EA21運用における環境配慮への取組み計画	
節電の推進 ①電力使用量の削減 ・節電対策(昼休み中PC電源プラグを抜く、エアコン温度設定、扇風機使用推進) ・電力使用量の記録(毎月記録) ・前年と比較して目的達成度を検討する(水道光熱費削減チェック表にて管理) ②グリーンカーテン・遮熱加工の実施 ・ガラス遮熱加工(八代支社)8月実施 ・グリーンカーテンの実施	B
EA21運用における業務改善への取組み計画	
申請書等の電子化 紙ベースの申請書等をナレコミで電子化する。	B

Action

- ノーマイカーによるCO2削減
CO2削減目標を決めてノーマイカーデーを実施する。



文房具の有効活用



使用済み封筒の分別



南側 ヤマホロシ

安全品質環境推進室



EA21運用における環境配慮への取組み計画

環境経営における社内浸透に向けた支援活動の徹底

- ① EA21活動における各部1件以上のモデル現場を制定する
- ② 部会に参加し、EA21の目的及び展開など取組内容を具体的に説明する

D

EA21運用における業務改善への取組み計画

社内帳票のペーパーレス化に向けての取組み

安全・品質・環境に関する現状の社内帳票の洗出しを行い、関係個所が実質必要とする帳票の策定を打合わせによりスリム化を図る。

C

Action

EA21の勉強会及び各部門・現場代理人とのコミュニケーションを通じて運用の定着と、環境への負荷の削減及び環境への取組みを推進する。

太陽光発電工事実績



八代市 I 様邸 5.3kW



水上村 岩野小学校太陽光発電 20kW



熊本市西区 S 様邸 4.82kW

- ・年間総発電量：2,030,120kWh程度
(一般家庭600世帯分の電力に相当する量)
- ・年間800トンの二酸化炭素を削減 (杉の木6万本に相当)



熊本製粉 弁天太陽光発電所 1MW



合志市・熊本製粉太陽光発電所 1MW



H24.08	八代市 I 様邸	5.3kW
H24.11	水上村 岩野小学校太陽光発電	20kW
H24.12	合志市・熊本製粉太陽光発電所	1MW
H25.04	熊本製粉 弁天太陽光発電所	1MW
H25.05	熊本市西区 S 様邸	4.82kW
2012.7～2013.6の合計		2,030.12kW

その他、鹿児島七ツ島メガソーラー発電所の特高変電所工事などにも参加しています。

八代支社の取組み

ゴーヤ グリーンカーテン 大作戦

八代支社は、
くまモンがお出迎え～



- ・送電着手メンバーにてネット繋ぎ、2F窓と雨どいに結ぶ。
- ・ナフコで、約2.7×1.8を6袋でちょうどのはずがちょっと不足。あと6袋追加する。
- ・あばしゴーヤ苗@198×6苗、プランターに土を入れ、肥料袋を立て埋めた状態に、苗を1本植える。
- ・野菜の土14Lを24袋。@198。1プランターに4袋。

- ① 50L用プランターに土2袋入れる。
- ② 土の袋の口を切って、プランターに立て埋め、周りに残り1袋を入れる。
- ③ 埋め立てた土の袋の上口を切って、苗を植え込む。
- ④ 水やり。

肥料(8-8)5kg入り1袋@680、苗の周りに蒔く。(一か月に一回の割合で。)
2日おきに水遣り。

- 先端の親芽摘み。
- 肥料(8-8) 6苗の根周り表面に白くまく。
- 右から2番目の鉢に、小さめの花が1輪開花。
- 一番右の苗枯れ。植え替える。
- 6月から、日曜除く毎日夕方の水やり。



プランターに日除けを施す。(送電さん設置して頂く)



やっと、窓をのぞき始めた。



ゴーヤ初収穫

※ゴーヤにとって、水は命のようだ。葉っぱが夕方にはしなれている。
支社長の朝・夕の水遣りで保っている。
(特に、地植えでなくプランターだから、大変。)



新幹線高架下剪定ボランティア



新幹線高架下歩道の清掃活動を行なっています

X 環境関連法規への違反・訴訟

1. 環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規への違反はありませんでした。
2. 環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。
3. 周辺住民からの環境苦情、訴訟についてもありませんでした。

※環境法規の取りまとめ及び遵守評価表を付表として添付します。

XI 代表者による全体評価と見直しの結果

	部 門	安全品質環境推進室	安品環推進室	管理責任者	社 長
MR 議事録	作 成 者	沼田 起明	沼田起明	服部武志	沼田吉輝
	作 成 日	平成26年3月13日			
	識別番号	610000			
実施日	平成26年3月13日		出席者	沼田社長、服部環境管理責任者 E A 21推進担当者：木村、沼田（起） 原之園、秋吉	
時 間	9:00～9:40				
場 所	本社 応接室2				
社長の指示事項 （決定事項・処置事項）	環境方針、環境目標の変更の必要性について				
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針については変更の必要性はありません。継続すること。 ・環境目標については、ガソリン、軽油、産業廃棄物が目標を達成出来なかったが、工事件数等に左右されるので、前回審査で審査員に助言を頂いた過去3年間の平均を目標とすることに変更し、実質は燃費で管理していくこと。 				
	環境活動計画及び環境経営システムの変更の必要性について				
<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画は引き続き目標の計画に沿って実施すること。 ・環境経営システムについて、マニュアルを皆様が分かり易いように具体的に作成して下さい。 					
その他の事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル見直し後、内部監査員研修を行い、社員の理解力を高めて下さい。 					
見直し					
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定を過去3年間の目標とする。 ・マニュアルを具体的に見直す。 ・内部監査員研修を実施する。 ・社員一人ひとりが自主的に活動を取り組む。 ・環境活動レポートを環境コミュニケーションツールとして活用することを目指す。 ・勉強会を開催する。 ・各部にエコ推進者を選任する。 ・経営計画方針書のE A 2 1運用と定着の活動を記録に残す。 					



エコアクション21
認証・登録番号 0008443